



<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

## 大学図書館問題研究会京都支部 第 33 回京都支部総会のご案内

大図研京都支部会員の皆様へ

支部総会を下記の要領で開催します。総会終了後には情報交換会を予定しております。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：2010年7月23日（金）午後7時半～8時半

※総会終了後、同会場にて情報交換会を予定

会 場：季節料理 門（京都市左京区田中門前町8）Tel：075-721-3301

会場へのアクセス

京都市バス「百万遍」バス停より徒歩5分（停車する主な系統：3, 17, 31, 65, 201, 203）



### [目 次]

大学図書館問題研究会京都支部第33回京都支部総会のご案内	…	1
大学図書館問題研究会京都支部第33回京都支部総会議案	…	2
京都支部委員の募集について	…	6
京都支部 Web サイト移設等のお知らせ	…	7
大学図書館問題研究会第41回全国大会のご案内	…	8

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)（大学図書館問題研究会京都支部）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

## 大学図書館問題研究会京都支部第 33 回京都支部総会議案

### 【第 1 号議案】

2009 年度 (2009. 7 ~ 2010. 6) 活動総括および  
2010 年度 (2010. 7 ~ 2011. 6) 活動方針

#### 1. 2009 年度活動総括

##### (1) 研究交流活動

2009 年度は以下のように、2009 年 11 月、2010 年 3 月、2010 年 6 月に大図研京都ワンディセミナーを開催し、3 回程度のセミナー開催を目標とした年度目標を達成できました。1 回目は、サービス提案をテーマにしたグループワークを取り入れるという初の試みでした。2 回目は図書館員によるアプリケーションの開発とそれを支える体制をテーマに、3 回目は、情報リテラシー教育における図書館員と教員の連携をテーマに行いました。いずれの回も当日実施したアンケートで好評をいただいています。

また、セミナー広報については、従来のメーリングリスト等の他、昨年度から開始した案内チラシの送付対象に京都市内の大学の司書課程も追加しました。さらに、京阪神の大学図書館へのメールでの案内も展開しました。加えて、Twitter アカウト「daitokenkyoto」による広報も開始しています。

以上により、セミナー参加者数の大幅増を実現しました (2008 年度参加者総数：73 名。2009 年度参加者総数：115 名)。

なお、セミナー運営については、当日の運営への参加を募るなど、参加者との協働の試みもスタートしています。また、アンケート調査を行い、適切な参加費設定の検討を進めています。

##### 1) 大図研京都ワンディセミナー「これからの大学図書館について考える：そのための視点と手法」

日時：2009 年 11 月 21 日 (土) 13:30~16:45

講師：井上創造先生 (九州工業大学)

場所：京都市国際交流会館 第 2 会議室

参加費：大図研会員は無料 / 非会員は 500 円

参加者数：24 名

##### 2) 大図研京都ワンディセミナー「サービス向上・業務効率化に使えるアプリを企画し試行提供する」

日時：2010 年 3 月 22 日 (月・祝) 13:30~16:40

講師：前田朗氏 (東京大学社会科学研究所図書室)

場所：京都市国際交流会館 第 3・4 会議室

参加費：大図研会員は無料 / 非会員は 500 円

参加者数：44 名

##### 3) 大図研京都ワンディセミナー「効果的な情報リテラシー教育を目指して：教育活動における教員と図書館員の連携」

日時：2010年6月12日(土) 13:50～16:40

講師：長澤多代先生(三重大学高等教育創造開発センター)

場所：京大会館 211号室

参加費：大図研会員は無料／非会員は500円

参加者数：47名

## (2) 支部報

発行期日の遅れは生じましたが、年度当初にコンテンツ作成計画を策定し、計画的発行に努め、所定の号数を発行しています。これによりセミナー等の感想や参加報告を掲載し、セミナー等に参加できなかった支部会員への情報提供をはかっています。

寄稿については、会員はもとより非会員からも幅広く得ることができましたが、会員に「発表の場を提供する」という目標の実現は、引き続いての課題です。

また、バックナンバーの電子化・保存を開始し、併せて、過去発行号の目次を遡及して支部サイトに掲載しています。この作業の完遂とこれに併せた国会図書館等への納本は、継続課題となっています。

なお、今年度発行した支部報の目次は、次のとおりです。

### 1) 支部報 No. 271(2009/08/15 発行)

- \* 大学図書館問題研究会第32回京都支部総会を開催しました
- \* 2008年度活動総括および2009年度活動方針
- \* 2008年度決算案および2009年度予算案、会計監査報告
- \* 2009年度大学図書館問題研究会京都支部役員
- \* 大学図書館問題研究会第32回京都支部総会 議事メモ・補足事項
- \* 京都支部ワンディセミナーに参加して(伊賀由紀子)
- \* 大図研京都支部ワンディセミナーの感想(久保山健)

### 2) 支部報 No. 272(2009/10/15 発行)

- \* 大図研京都ワンディセミナーのご案内
- \* 支部委員 挨拶
- \* 第40回全国大会報告
- \* 大図研京都支部忘年会のご案内

### 3) 支部報 No. 273(2009/12/15 発行)

- \* 新春合同例会の案内
- \* 10年続く勉強会：京都大学図書系職員勉強会の紹介(石原三輪子)
- \* カンボジア・大学図書館訪問記 etc(坂本拓)

### 4) 支部報 No. 274(2010/02/15 発行)

- \* 大学図書館問題研究会京都支部 ワンディセミナーのご案内
- \* 大図研京都ワンディセミナー参加報告 はじめての大図研(谷航)
- \* 第11回図書館総合展報告：二度の出展を通して感じたこと(池田貴儀)

### 5) 支部報 No. 275(2010/04/15 発行)

- \* 大図研京都ワンディセミナーのご案内
- \* 大図研近畿4支部新春合同例会参加報告 大学図書館とキャラクターについて(谷本千栄)

- \* 「図書系職員のためのアプリケーション開発講習会」にみる講習会モデルとサービス向上・業務効率化への取り組み(大西賢人)
- \* 興味や思いをかたちに変える ～アプリケーション開発講習会の魅力(吉田弥生)
- \* 外付け機能が面白い！図書系職員が企画開発するアプリケーション(是住久美子)
- \* 第 11 回灰色文献国際会議参加報告(池田貴儀)

6) 支部報 No. 276(2010/06/15 発行)

- \* 大学図書館問題研究会第 33 回京都支部総会のご案内
- \* 大学図書館問題研究会第 33 回京都支部総会議案
- \* 京都支部委員の募集について
- \* 京都支部 Web サイト移設等のお知らせ
- \* 大学図書館問題研究会第 41 回全国大会のご案内

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

ホームページでは、イベントのお知らせや、支部委員会の報告等、支部活動の記録を定期的かつ迅速に掲載しています。2010 年 6 月 30 日現在、8,405 アクセスを得ています(アクセスカウンター設置:2006 年 8 月 22 日)。今年度よりアクセス解析を開始し、Web サイト充実の検討材料としています。また、Web サイトおよび ML「yurikamome」の運用について、独自契約プロバイダから本部契約プロバイダのサイトへの移行を完了しました。これにより、契約費用の圧縮とともに、今後のコンテンツ充実に備えた容量アップを実現できました。

メールマガジンは、「大図研京都支部 NewsLetter」として、no. 84 (2009 年 8 月 7 日) から no. 107 (2010 年 6 月 29 日) を発行しました。支部委員会議事録、支部企画案内等を随時送信することで支部活動をお知らせするとともに、月 1 回のイベント案内を定期的に発行し、好評を得ています。

(4) 組織活動

会員数は、2010 年 7 月 1 日現在 65 名で、2009 年度当初から 1 名の減少です。図書館から異動等に伴う退会がありながらも、新規会員を得ることでできています。これは、セミナー案内チラシへの入会案内同封や個別の勧誘等も積極的に行うなどした結果、セミナー参加者から入会者を得るなどの成果に繋がったものです。

(5) 財政

昨年度に引き続き、会費納入率の向上に努め長期滞納者 0 名を実現できています。また、所定の会費徴収スケジュールに則った計画的な督促業務を行うことによって、低い未納率も維持できています。なお、各年度の未納率は次のようになっています。2007 年度 2%、2008 年度 4%、2009 年度 12%、2010 年度 58% (2006 年度以前は 0%。休会扱い 1 名を含む)。

(6) その他

全国大会では、支部会員から意見を募った上で大図研の運営改善等に関する提案を行いました。また、大図研 Web サイトの更新プロジェクトについても提案を行っています。その他、例年どおり「大学の図書館」うち、1 号の編集を担当しています。

## 2. 2010年度活動方針

### (1) 研究交流活動

会員のニーズに応じた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成と交流に役立てるため、セミナー等を2回以上、開催します。また、積極的な参加と交流の実現のため、セミナー企画段階からの参加募集を試行します。適切な参加費設定の検討も引き続き進めていきます。なお、地域における積極的な参加を促すため、京都および周辺地域の大学図書館等、関連する組織への広報も継続していきます。

### (2) 支部報

定期発行と正確で読みやすい誌面の作成とともに、広く寄稿を求めかつ連載記事を企画することにより、コンテンツの一層の充実に努めます。また、自己啓発や会員間交流の場としての支部報のみならず、より多くの会員に「発表の場を提供する」支部報となるよう引き続き努力します。なお、バックナンバーの電子化・保存および過去発行号目次の支部サイトへの遡及掲載作業を進め、国会図書館への納本及び大学図書館への寄贈の実現を図ります。

### (3) Webサイト、メーリングリスト、メールマガジン

京都支部の活動に関する情報をわかりやすくかつ迅速に提供するため、Webサイトを随時更新します。とくに支部報記事の電子化による積極的な公開や会員リンクの充実など、コンテンツの拡充と会員間コミュニケーションの促進を一層強化します。また、メールマガジンの定期的な発信を継続するとともに、Twitterアカウントの積極的活用を模索します。

### (4) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。セミナーをはじめあらゆる機会をとらえ、関連組織への広報の実施と入会の勧誘に努めるだけでなく、魅力的な会報づくりや有益なセミナーの開催、会員交流の場の提供等、充実した支部活動を行います。

### (5) 財務

所定の会費徴収スケジュールに従い、個々の会員へ個人別会費納入状況のお知らせや振込用紙の発送を行うことで、会費納入率を維持します。また、長期滞納者を作らないため、滞納の兆候が見られた段階での積極的な督促を行います。なお、節約の結果として積み立てられた予備費を効果的に活用する方策として、有料の講師や連続セミナーに向けての積立金を作成するものとするなど、研究交流活動の一層の充実策を引き続き検討します。

(以下の議案は当日配布します)

【第2号議案】2009年度決算報告活動総括及び2010年度予算及び会計監査報告

【第3号議案】2010年度支部役員選挙

---

## 京都支部委員の募集について

---

京都支部では、2010年度(2010年7月～2011年6月)の京都支部委員を募集します。研修に参加するだけでは飽き足りない、ネット上だけでは物足りないと考えている皆さん、いっしょに大図研の活動を通して、図書館のこれからを創っていきませんか。

詳しくは以下をご覧ください。

### 1. 募集対象

2010年6月末時点で京都支部会員であるか7月から京都支部に入会予定の方

### 2. 募集期間

2010年6月28日(月)～7月16日(金)

### 3. 活動内容

#### ・支部委員会への参加

1ヶ月～2ヶ月に一度、開催します。現在は京都大学で行っています。それ以外の連絡調整は、MLを使用しています。

#### ・支部委員は各自以下にあげる担当を複数分担します。なお、現在の支部委員は10名です。

支部長：連絡調整等

副支部長：支部長の補佐

全国委員：大学図書館問題研究会全国委員会への出席(年数回・東京)。全国大会での分科会運営

研究企画：セミナー等の企画立案(実施にあたっては、広報等事前準備から当日の運営まで、全支部委員で行います)

支部報編集：「京都支部報」記事の企画、編集校正

支部報印刷と発送：支部報の作成。その他広報物等の発送

メールマガジン：メールマガジン「yurikamome」記事の作成と送信

WebサイトとML：京都支部webサイトの作成と管理運営。支部Twitterによる情報発信。支部委員会連絡・アーカイブ用サイトおよびMLの管理運営

組織・財務：会員現勢管理。会費徴収。支部活動に関する収入支出管理

「大学の図書館」編集：全国誌「大学の図書館」京都支部担当号の企画、編集校正

#### ・支部委員会の活動内容は、京都支部サイト左側メニューにある「活動日誌」および「支部委員会」もご覧ください。(http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm)

### 4. 応募・問合せ先

応募のお知らせやご不明な点の問い合わせなどは、

京都支部メール：kyoto@daitoken.com またはお近くの支部委員までお願いします。

## 京都支部 Web サイト移設等のお知らせ

京都支部の Web サイト等下記のように変更いたしましたので、お知らせいたします。引き続き、新しい Web サイト等をご利用いただければと思います。また、お手数をおかけいたしまして、誠に申し訳ございませんが、そのためにも、お気に入りやアドレス帳をご変更いただけますよう、お願い申し上げます。

### ■ 京都支部の Web サイト

新 URL : <http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

The screenshot shows the website interface for DTKK (University Library Studies Research Association, Kyoto Branch). It includes a navigation menu on the left with items like '大学図書館問題研究会 京都支部の紹介', '入会案内', '年会費とその納入方法', 'MLゆりかもめ', '支部規約', '活動日誌', '支部総会', '支部報:目次,投稿,公開', '支部委員会', '支部会員リンク,その紹介', 'このサイトについて', '問い合わせ先', and 'サイトマップ,掲載履歴'. The main content area features a header with the DTKK logo and the text '大学図書館問題研究会 京都支部(DTKK)008274' and '大図研全国大会 (in 大阪) (08/28-30まで、あと76日)のご案内'. Below this is a section titled '大学図書館問題研究会 京都支部とは' which describes the organization's goals and activities. At the bottom, there is a table titled '掲載履歴 (最新5件)' listing recent posts with dates and titles.

掲載日	掲載内容
2010.05.21	支部報No.275(目次)を掲載しました。
2010.05.08	このサイト (http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm)に3回題してきました。今度は、このサイトをご利用ください。
2010.05.02	大図研京都フロンティアセミナー「効果的な情報リテラシー教育を目指して」の開催活動における役員と図書館員の連携 2010年06月12日(土)のご案内を掲載しました。
2010.04.29	第5回支部委員会(報告)を掲載しました。
2010.03.08	第4回支部委員会(報告)を掲載しました。これ以前の履歴については掲載履歴をご覧ください。

### ■ 支部委員会のメールアドレス

新アドレス : [kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)

### ■ 「MLゆりかもめ」のメールアドレス

新アドレス : [yurikamome@daitoken.com](mailto:yurikamome@daitoken.com)

◇ Web サイトやブログをお持ちの方、京都支部の Web サイトからリンクを張りませんか? ◇

同じ支部の会員でありながら、普段はなかなか交流の機会がなく、お互いがどんな人なのか分からない、ということはないでしょうか?

お互いの関心事などを共有していただき、会員交流の機会につながればと思います、支部会員リンクを設けています。ぜひ、この機会に会員交流の足がかりとして、ご活用いただければと思います。

また、自前のページをお持ちでない場合は、京都支部の Web サイトにページを掲載することもできます。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。詳しくは、次のページをご覧ください。

支部会員リンクの紹介

[http://www.daitoken.com/kyoto/mlink\\_application.htm](http://www.daitoken.com/kyoto/mlink_application.htm)

現在公開中の支部会員リンク

<http://www.daitoken.com/kyoto/mlink.htm>

## 大学図書館問題研究会第41回全国大会のご案内

今年の全国大会は、大阪での開催です。この機会にぜひご参加ください。また、ご参加にあたっての不明な点などありましたら、どうぞお気軽に支部委員会 (kyoto@daitoken.com) まで、お問い合わせください。

参加お申し込みや大会についての最新情報は、第41回全国大会のWebサイトをご覧ください。  
<https://sites.google.com/site/dtk2010osaka/>

と き： 2010年8月28日(土)～30日(月)

と ころ： 千里ライフサイエンスセンタービル(受付は6階)

### 交通案内：

地下鉄御堂筋線千里中央駅 北出口徒歩1分 / 大阪モノレール千里中央駅 徒歩約10分

参加費：6,000円

ただし、1日目か2日目だけ参加の方は3,000円、3日目だけ参加の方は1,000円  
非会員の学生の方は1,000円

懇親会費：5,000円

### プログラム

・8月28日(土) 1日目

12:30- 受付開始

12:45-13:00 ウェルカム・ガイダンス(初参加者向けオリエンテーションです)

13:00-14:50 全体会(研究会の会務について話し合います)

15:00-16:00 研究発表

土出郁子氏(大阪大学附属図書館)「デジタルリポジトリ(仮題)」

天野絵里子氏(京都大学附属図書館)「データで見る大学図書館員：

専門性はどこにある?(仮題)」

16:20-17:50 記念講演濱田信夫氏(大阪市立環境科学研究所)「本の虫と本のカビ(仮題)」

18:30- 懇親会+地酒の会

・8月29日(日) 2日目

課題別分科会：午前(9:00-12:00) / 午後(14:00-17:00)

午前： 第1分科会 大学図書館史

午後： 第5分科会 機関リポジトリ

第2分科会 コレクション構築

第6分科会 利用者支援

第3分科会 リカレント教育

第7分科会 出版・流通

第4分科会 図書館システム

第8分科会 図書館経営

・8月30日(月) 3日目

9:00-12:00 オープンシンポジウム

「大学図書館員は消耗品か? 業務委託・市場化テストをめぐる」

### 自主企画：

「海外の図書館(を含む)写真展」 場所：事務局部屋 28日～30日

「天神橋筋商店街探訪」 29日夜

「落語家と行くなにわ探検クルーズ」 29日夜(先着15名様まで)

「エル・ライブラリー見学会」 30日午後(先着20名様まで)